

# 日本古代文書研究

2013年1月刊行予定

渡辺 滋 著

定価 9,660円 (税5%込)

A5判・480頁 ISBN978-4-7842-1715-1

古代中国から文書主義を継受した段階にはじまり、最終的にそれを換骨奪胎して日本的な新秩序として再編成するまでの諸過程を、日本古代社会で作成・利用されたおもな文書形式(符・庁宣・下文、移、牒、解など)を対象として分析。古代社会における文書の機能に関する最新の研究成果を提示するとともに、機能論的な視角によって文書主義の運用を考察することで、古代から中世への移行にかかわる日本社会の特質に迫る。

## ◆◆予定内容目次◆◆

### 序 論

古文書研究の歴史的展開／これまでの研究経緯／文書主義に関する研究の現状／文書主義を支える諸要素

### 第一章 官符

下達文書を「奉行」すること／留案に捺印・自署すること／発給・送付方式に生じた変化／官符(正文)が当事者に直接支給される段階

### 付 章 任官関係文書に見る当事者主義

任符の機能／任符の役割の変化／任官過程における当事者主義／叙位・任官と文書

### 第二章 省符

律令制が維持される段階／十世紀における中世的あり方の萌芽／当事者主義の一般化

### 第三章 地方官司の符

八・九世紀の国符／八・九世紀の郡符／十世紀における中世的あり方の萌芽／当事者主義の一般化

### 第四章 庁宣

国司の着任と新司宣／文書目録から見た国司庁宣／庁宣を入手・行使する当事者／庁宣の副状・送状・請文

### 第五章 下文

官宣旨／下文／充所記載に生じた変化

### 第六章 平行文書

一般的な利用方式／公驗として伝来した以外の事例／公驗としての牒

### 第七章 上申文書

中央官司の解／国司解(奈良期)／国司解(平安期)／郡司解／郷長解 附条令解

### 終 章

「中世的文書主義」とは／当事者主義の前提としての「当事者」／職権主義から当事者主義へ

わたなべ・しげる・・・1973年生まれ。上智大学文学部史学科卒業、明治大学文学研究科史学専攻(博士前期課程)修了。同(博士後期課程)単位修得退学。博士(史学)(明治大学)。日本学術振興会特別研究員(PD)・国立歴史民俗博物館外来研究員(歴史研究系)・明治大学兼任講師などを経て、現在、京都造形芸術大学非常勤講師。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

| 注文票  |  | 発行:思文閣出版 |  | (京都 取引コード 3402)       |  |
|------|--|----------|--|-----------------------|--|
| 冊数   | 冊  | 日本古代文書研究 | 本体9,200円(税別)   | ISBN978-4-7842-1715-1 |  |
| お名前  | tel  |          |  |                       |  |
|      | e-mail   |          |  |                       |  |
| ご住所  | 〒  |          |  |                       |  |
| 送本方法 | <input type="checkbox"/> 書店経由(このちらしを書店にお渡し下さい)<br><input type="checkbox"/> 代引(書籍代+送料400円を現品と引き替えにお支払い) |          | 書店番線印  |                       |  |

## 御堂関白記全註釈【全16冊】

山中裕編

藤原道長の日記「御堂関白記」の原文・読み下しと詳細な註により構成された、永年に渡る購読会と集中講座による成果。国書刊行会・高科書店発行分は復刊し、「寛弘6年」は編者のもとで註釈部分の再検討を行い、大幅な改訂を喰えて【改訂版】として刊行。

- |                 |           |                      |            |
|-----------------|-----------|----------------------|------------|
| 御堂御記抄／長徳4年～長保2年 | 定価 5,250円 |                      |            |
| 寛弘元年 [復刻]       | 定価 8,505円 |                      |            |
| 寛弘2年 [復刻]       | 定価 5,985円 | 長和元年 [復刻] 定価 8,820円  |            |
| 寛弘3年            | 定価 5,775円 | 長和2年 [復刻] 定価 11,655円 |            |
| 寛弘4年            | 定価 5,775円 | 長和4年                 | 定価 6,300円  |
| 寛弘5年            | 定価 5,250円 | 長和5年                 | 定価 12,075円 |
| 寛弘6年 [復刻]       | 定価 5,040円 | 寛仁元年 [復刻]            | 定価 7,875円  |
| 寛弘7年            | 定価 5,775円 | 寛仁2年上 [復刻]           | 定価 5,670円  |
| 寛弘8年            | 定価 6,825円 | 寛仁2年下～治安元年 [復刻]      | 定価 5,775円  |

## 東寺百合文書【既刊10冊】

京都府立総合資料館編

東寺に襲蔵されてきた奈良時代から江戸時代初期まで約900年にわたる、総数18,000点・27,000通におよぶ日本最大の古文書群である国宝・東寺百合文書。本史料集には「ひらかな之部」刊行中の『大日本古文書』未収録の「カタカナ之部」を翻刻。(最終全60巻の予定)

- |                    |                |                       |
|--------------------|----------------|-----------------------|
| 第1巻(イ函・ロ函一)        | 490頁／定価 9,975円 | ISBN4-7842-1182-9     |
| 第2巻(ロ函二)           | 446頁／定価 9,975円 | ISBN4-7842-1224-8     |
| 第3巻(ロ函三)           | 444頁／定価 9,975円 | ISBN4-7842-1266-3     |
| 第4巻(ロ函四・ハ函一)       | 454頁／定価 9,975円 | ISBN4-7842-1319-8     |
| 第5巻(ハ函二)           | 454頁／定価 9,975円 | ISBN978-4-7842-1364-1 |
| 第6巻(ハ函三・ニ函一)       | 432頁／定価 9,975円 | ISBN978-4-7842-1435-8 |
| 第7巻(ニ函二)           | 450頁／定価 9,975円 | ISBN978-4-7842-1480-8 |
| 第8巻(ニ函三、ホ函、ヘ函、ト函一) | 442頁／定価 9,975円 | ISBN978-4-7842-1532-4 |
| 第9巻(ト函二・チ函一)       | 446頁／定価 9,975円 | ISBN978-4-7842-1585-0 |
| 第10巻(チ函二)          | 478頁／定価 9,975円 | ISBN978-4-7842-1657-4 |

## \*東寺・東寺文書の研究

上島有著

第21回角川源義賞受賞

近世文書や聖教類も含めた東寺文書の整理の歴史を、東寺と東寺文書の研究に永年携わってきた著者が、寺史や伝来とも関わらせて集大成。  
【内容】東寺の歴史／東寺文書の伝来と現状／東寺百合文書の整理と目録作成／東寺文書をめぐって  
付：文書編年目録／索引  
▶A5判・872頁／定価 17,850円 ISBN4-7842-0979-4

## 訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀

皇學館大学神道研究所編

天皇一代一度の国家祭祀・大嘗祭の祭祀・儀式の全貌を示す、最も古い確かな文献である『儀式』(貞観儀式)。本書は、皇學館大学神道研究所が長年に亘り取り組んできた、現存本『儀式』巻二・三・四「踐祚大嘗祭儀 上・中・下」の訓讀・注釈研究の成果。底本には天保5年の版本を用い、訓讀文は当時の読み方を出来るだけ再現した。  
▶B5判・890頁／定価 15,750円 ISBN978-4-7842-1619-2

## \*鹿王院文書の研究

鹿王院文書研究会編

臨濟宗寺院の鹿王院(京都市右京区)所蔵の中世文書(五山禅林と幕府・朝廷との関係や京中及び諸國に展開する所領・荘園にかかわる貴重史料など)約900点を収録。第1部(文書篇)には編年で釈文を収め、第2部(解題・研究篇)には文書全体の解題のほか研究成果を収録。  
▶A5判・530頁／定価 13,650円 ISBN4-7842-1037-7

## 律令国家の展開と地域支配 思文閣史学叢書

西別府元日著

律令国家における、土地に対する国家的管理の実相、民衆掌握の様相、地域社会と国家との関係——この三つの視点から8～9世紀の諸政策を対比的に分析・検討し、律令国家支配の理念とその構造的変化を追究する。  
▶A5判・400頁／定価 8,610円 ISBN4-7842-1111-X

## \*日本古代典籍史料の研究

鹿内浩胤著

史書・法制史料・儀式書・部類記など歴史学の土台をなす日本古代史の基本史料を対象に、原撰本へ如何にして接近するか、伝来論的アプローチを中心に「文献学的研究」と「書誌学的研究」の二部構成で研究の方法論を提示する。著者が発見した新史料『小野宮年中行事裏書』(田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』)全丁の影印・翻刻も収録。  
▶A5判・376頁／定価 7,035円 ISBN978-4-7842-1552-2

## 九条家本延喜式【全5巻】

東京国立博物館古典籍叢刊編集委員会編

東京国立博物館所蔵の国宝・九条家本延喜式を、紙背文書も含めて写真版で影印出版。紙背文書には新撮の高精細画像を使用し、朱書きがある箇所は二色刷とした。第五回配本に九条家本延喜式の解説と紙背文書全点の翻刻を付す。  
▶A5判・平均450頁／各定価 15,750円 ※第4巻・第5巻は未刊

## 南都寺院文書の世界

勝山清次編

東大寺宝珠院(法華堂文書・宝珠院文書)と興福寺一乗院坊官二条家(一乗院文書・一乗院御用日記)に伝来した文書の3年間に渡る調査・研究の成果をまとめた一書。南都寺院の寺領やネットワークに関する研究をこれらの史料をもとに展開する。論考8篇と史料翻刻3篇収録。  
▶A5判・350頁／定価 6,090円 ISBN978-4-7842-1369-6

## 東寺文書と中世の諸相

東寺文書研究会編

日本の古文書を代表する史料群であり、中世の基本史料である東寺文書。そのうち東寺百合文書は1997年に国宝指定をうけている。本書は、東寺文書に魅せられた中世史研究者により、1994年以降続けられた東寺文書研究会での研究成果の第二弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。  
▶A5判・654頁／定価 11,550円 ISBN978-4-7842-1578-2

## \*禁裏・公家文庫研究【既刊4冊】

田島公編

勅封のため全容が不明であった東山御文庫本など近世の禁裏文庫収蔵の写本や、交流がある公家の文庫収蔵本に関する論考・データベース・史料紹介を掲載  
▶(一・二) B5判・各390頁／各定価 10,290円 ISBN4-7842-1143-8・-1293-0  
(三) B5判・496頁／定価 12,390円 ISBN978-4-7842-1414-3  
(四) B5判・404頁／定価 9,660円 ISBN978-4-7842-1614-7

## 中世の契約社会と文書

村石正行著

売買・貸借などの契約関係を題材に、それに関わる契約者双方の文書作成のあり方を検証、「塵芥集」における法慣習なども援用しながら、双方向の文書授受とそれにまつわる文書作成が一般的におこなわれていた可能性を示す。  
▶A5判・352頁／定価 7,875円 ISBN978-4-7842-1668-0

## 中世日本の政治と文化

思文閣史学叢書

森茂暁著

鎌倉時代から室町時代にかけて、現存している古文書や、政治と深く関わった宗教者から、「中世日本」とはどのような時代だったのかをひもとき、さらに『増鏡』や『太平記』、「博多日記」という記録史料など、文芸作品からのアプローチをも試みる。中世の政治と文化を総合的に明らかにした論考15篇を収録。  
▶A5判・480頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1324-4

## 日本古代地域史研究序説

西別府元日著

いまだかけ声にとどまる「地域の視座」にたつ研究の実践的試み。「地域の視座」を人々の再生産(経営)の場とその構造に思索の立脚点をずえることととらえ、前著(『律令国家の展開と地域支配』)で追究した律令国家の展開を明らかにする為の前提ともなる、古代地域社会研究方法論の確立をめざす。  
▶A5判・324頁／定価 7,140円 ISBN4-7842-1142-X

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。